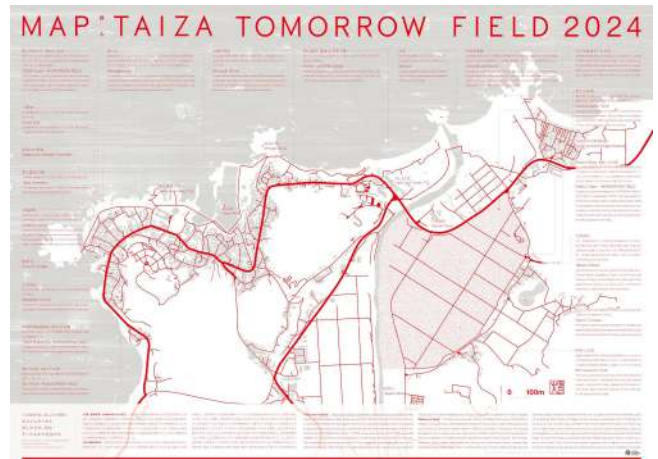




NPO法人TOMORROW(代表 徳田佳世)は、2024年10月25日(金)～11月17日(日)に食とアートの集落構想「あしたの畑 2024」の秋期公開をいたします。会期に先駆け、間人エリアのアートマップ、NPO法人 TOMORROW代表の徳田佳世のインタビューを公開しました。

「あしたの畑」は、アートと食を通して、人が集まるきっかけを作り、学ぶ場を生み出す、土地が持つ自然の財産に気付く機会を提供していくプロジェクト。「食」「建築」においても土地の材を再評価し、集落の中で豊かに生きていくノウハウを育むシステムを構築していくことを最重要視しています。

京都府京丹後市の間人(たいざ)地区を拠点にしてから今年で4年目を迎えました。日本に暮らすこと、世界が平和であるために文化芸術活動を通して貢献することの意義を思考し、アート・工芸・建築・食の分野から集落環境を提案していく活動を行っております。



活動では、土地の魅力を再発見するために国内外で活躍する人材を招聘し、作品制作を通してその過程において意見交換して得られたアイデアを活動のクオリティ向上に積極的に取り入れています。

また、国内外の大学生をインターンとして迎え、食・自然環境を作品制作の過程の中で考察する機会を提供しています。社会に出てからの彼らの思考に、これからの日本、世界を取り巻く自然環境を考え自己と向き合う機会と時間を提供したいと考えています。

その取り組みの一つとして、2024年10月25日(金)より始まる食とアートの祭典「あしたの畑 2024年秋期」の開催に先駆け、展示会場となる京都府京丹後市の間人エリアのアートマップを制作しました。

会場の間人エリアや展示作品への理解をより深めることができるこのアートマップは、韓国出身の現代アーティスト Noh Sangho(ノ・サンホ)のドローイング作品と、弊団体(NPO法人TOMORROW)の学生インターンスタッフによる間人の調査資料をあわせて制作。太陽と潮風を浴びた間人の焼杉の家々をイメージしたデザインのマッピングは、グラフィック・デザイナー 窪田新が手掛けました。間人の過去・現在・未来を感じることができるアートマップです。

ノ・サンホは、韓国国立現代美術館(MMCA)のヤング・エクスプロレーション2014にも選出され、2024年5月には東京でも初の個展を開催するなど、国内外で注目が高まっているアーティスト。2024年5月に間人を訪れ、そこで得た体験や想像をドローイング作品で表現しています。アートマップは8月下旬より、あしたの畑の関連施設で限定数配布。「あしたの畑」のWebサイトでもPDFデータをダウンロード可能。<https://tomorrow-tp.org/calendar/>



レクチャー・対談

『リジェネラティブ・アーキテクチャー』

日時：9月14日(土)16:00-17:30(15:30 開場)
会場：京都大学 百周年時計台記念館
(京都府京都市左京区吉田本町36)
登壇者：Anna Heringer(建築家)、平田晃久(建築家)
参加費：1,000円
定員：100名(予約制・先着順)
主催：NPO法人TOMORROW、
独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁
詳細・申込は [こちら](#)

世界各地でさまざまなヴァナキュラー建築を手がけ、ユネスコでの持続可能な建築学教授に任命されているドイツの建築家 Anna Heringer氏によるレクチャーと、平田晃久建築設計事務所 平田晃久氏による対談イベントを開催。地域の素材や伝統的な技法を使ってどのようにリジェネラティブな建築を作っていくかを両氏が議論します。



SEI-kitchen vol.8

「藻類の食とシェフ・フードドクター」

日時：9月24日(火)11:00-13:00
会場：SEI KYOTO
講師：坂部幸(日本フードドクター食医学協会理事)
料理人：坂本健(cenciオーナーシェフ)
参加費：5,500円
定員：8名(予約制・先着順)
詳細は[こちら](#)

楽しみながら、真剣に食と環境に向き合っている料理人とアート・建築・環境、各分野の専門家をお招きし、学び、語るひとときを共有する「SEI-kitchen」。今回は、日本フードドクター食医学協会理事 坂部幸さんを講師にお迎えします。料理は、cenciオーナーシェフ 坂本健さんに間人の海藻を使用した「わかめスープ定食」を作っていただきます。このメニューは2024年10月25日より間人スタジオで提供予定。今回が初めてのお披露目です。



「あしたの工房-左官」ワークショップ

日時：~~8月31日(土)、9月1日(日)各日 9:00-17:00~~
*いずれか1日の参加も可能
会場：間人レジデンス(京都府京丹後市丹後町間人3332-2)
参加費：1日3,500円
定員：6名(中学生以上)
詳細は[こちら](#)

※台風10号の影響により開催を延期いたします。

詳細が決まり次第、あしたの畑のウェブサイトでお知らせいたします

「あしたの畑2024 秋期」の会場でもある間人レジデンスにて、寺社仏閣や数寄屋建築を中心とする左官職人の中須仁隆(中須左官店)より三和土(たたき)の作り方を習うワークショップを実施します。このワークショップでは、土で家を作る体験と思い出を共有します。

徳田佳世 インタビュー公開

NPO法人TOMORROWの理事を務める徳田佳世のインタビューを、あしたの畑のウェブサイト コラムページに公開しました。本プロジェクトを始めるに至った背景、思い、「あしたの畑」という文化芸術活動を通して見つめる未来について語っています。

<https://tomorrow-jp.org/column9/>

「あしたの畑」秋期 概要

京都府京丹後市間人(たいざ)地区の〈間人スタジオ〉、〈SEI TAIZA〉、〈間人レジデンス〉では、国内外のアーティストや工芸作家、料理人、写真家、学生による特別展示を行います。

また、同地区の〈宮のあしたの畑〉では、現代美術アーティスト テレジータ・フェルナンデス、木工職人 中川周士を中心に、リジェネラティブなアート、工芸、建築作品の創造の場となる常設作品「Field of Stars」も公開いたします。

会期	2024年10月25日(金) - 2024年11月17日(日) 11:00-16:00 ※火・水曜 休み
会場	間人スタジオ、SEI TAIZA、間人レジデンス、宮のあしたの畑
参加作家	AAWAA、開化堂、嘉戸浩(かみ添)、坂本健(cenci)、楠修二、Sangho Noh、Ken Gun Min、野口里佳、安東陽子+京都大学平田晃久研究室
鑑賞料	1,500円(全会場共通) ※〈宮のあしたの畑〉の作品は無料
主催	NPO法人TOMORROW、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁
委託	令和6年度日本博2.0事業(委託型)

公式ウェブサイト <https://tomorrow-jp.org/>
オンラインチケット購入 <https://tomorrow-jp.org/program/2024fall/>



JAPAN
CULTURAL
EXPO 2.0

NPO法人TOMORROW / あしたの畑



ロゴ：杉本博司

NPO法人TOMORROWは、芸術文化活動を核とする非営利団体。「感動すること」を最上位の価値として定め、芸術文化活動を通し、豊かな心を育み、平和な国際社会を築く一因となることを目的とします。2020年より京都北部の京丹後市間人(たいざ)地区にて開始した活動「あしたの畑」は、国内外で活躍するアート(建築・工芸などの表現を含む)と食のプロフェッショナルたちが、分野を超え、都市部では得られない地域の立場から、未来に引き継ぎたい日本の美しい景色を文化芸術的アプローチによって創造していくことを目指します。 <https://tomorrow-jp.org/tomorrow/>

BOARD MEMBERS

理事長	徳田佳世
副理事長	徳山豊、西沢立衛
理事	中田英寿

本件の取材・掲載に関するお問合せ press@tomorrow-jp.org (担当:中川)